

**第1回武蔵小杉駅周辺地域帰宅困難者対策協議会
エリア防災計画作成部会 合同会議
会議録**

■開催日時・場所・出席者

日 時：平成27年10月27日（火）15時～16時30分

場 所：中原区役所501会議室

出席者：武蔵小杉駅周辺地域帰宅困難者対策協議会委員（別紙名簿参照）

エリア防災部会委員（別紙名簿参照）

村田担当課長、松山課長補佐、山本職員（以上、中原区役所危機管理担当）

■会議次第

1 開 会

2 国土交通省、副市長挨拶

3 委員紹介

4 議 題

（1）武蔵小杉駅周辺地域帰宅困難者対策協議会規約について

（2）武蔵小杉駅周辺地域エリア防災計画の策定について

①計画の概要について

②武蔵小杉駅周辺の現状等について

③計画策定の進め方について

5 その他

6 閉 会

■配付資料

資料番号	資料名
—	次第
—	名簿
—	座席表
資料1	武蔵小杉駅周辺地域帰宅困難者対策協議会規約
資料2	武蔵小杉駅周辺地域エリア防災計画の策定について
資料3	武蔵小杉駅周辺の特徴
資料4	地震被害想定
資料5	これまでの取組
資料6	武蔵小杉駅周辺の課題
資料7	計画策定の進め方

■会議要旨

1 開会

2 国土交通省、副市長挨拶

《国土交通省関東地方整備局建政部都市整備課長 犬飼委員》

東日本大震災のときに大規模な駅周辺の帰宅困難者が多数発生したことを受け、平成24年に都市再生緊急整備地域において帰宅困難者対策を進めるため都市再生特別措置法を改正し、25年度には乗降客数が1日30万人以上の駅周辺についても対策を進めるため、国土交通省も制度を創設し、予算面の支援などを実施している。

既に川崎市では、川崎駅周辺において、既に帰宅困難者対策の協議会が立ち上がり、計画の策定も進んでいる。武蔵小杉駅周辺においても、乗降客数30万人以上あり、特にここ近年、大規模なマンションの建設や商業施設等、都市開発も進んでおり、非常に滞留者も多いということで、このたび、帰宅困難者対策を進めていただくということで、国土交通省も支援していきたい。

この協議会を通じて、武蔵小杉駅周辺の帰宅困難者対策が、川崎市だけではなく、鉄道事業者、商業とか都市開発に係わる民間事業者、地域の皆様と協力しながら、帰宅困難者対策を進められて、事前の防災を進めていただければと思っている。

《川崎市副市長 砂田委員》

都市安全確保促進事業制度の乗降客30万人以上については、武蔵小杉駅ではJR・東急併せて30万人を超えており、中原区の人口が25万人ということなので、区全体の人口よりも多い乗降客がこの武蔵小杉駅を利用しているということになる。

さらに、今日ご参加いただいている多くの大型商業施設やさまざまな公共施設が存在し、一朝有事の際、時間帯にもよるが、最悪の場合は、本当に多くの人がこの小杉駅周辺に集中するということになる。

もちろん、我々行政も一生懸命対応を考えるが、どうしても命に危険のある人を優先していくとなると、帰宅困難者への対応というのは、やはり民間、施設管理者、鉄道事業者の皆様の力を結集しないと、必要な緊急災害対策にも支障をきたすことになりかねないため、帰宅困難者対策としては、まず、さまざまな災害対策に混乱をきたさないよう、しっかり、整然と対策を皆さんで講じていくことが非常に大切だと思う。

今日の対策協議会、今回はエリア防災計画の作成部会も合同で開催しているが、ぜひ実のある、実効性のある計画を作り、それを実地に生かしていきたいと思っているので、ご協力をお願いしたい。

3 委員紹介

○事務局村田担当課長より委員を紹介

4 議 題

(1) 武蔵小杉駅周辺地域帰宅困難者対策協議会規約について

○事務局から、資料1の2「武蔵小杉駅周辺地域帰宅困難者対策協議会規約案」、資料1の2「エリア防災作成部会会則案」について説明を行った。

○帰宅困難者対策協議会の会長選出では砂田委員が会長として承認された。

○エリア防災計画作成部会の部会長選出では小野委員が部会長として承認された。

《砂田会長 挨拶》

先ほど互選で皆さんからご指名、ご承認いただき、会長を務めることになった。非常に責任の重い仕事だと痛感しているが、皆さんのご協力を得て、いい計画を作り、いい防災対策に取り組みたいと思っているので、ご協力をお願いしたい。

《小野部会長 挨拶》

当部会は、現在この地域でさまざまな活動をされている方々が委員となられており、大規模な地震等が発生した場合には、ここにお住まいになられる区民の方々、ショッピングなどに来られる方々、スポーツ観戦に来られる方々、毎日通勤通学でこの小杉駅付近を利用される方々、この方々の**命を守ることを第一優先として、次に、駅前に滞留する方々や困っている方々について、安全に避難所に誘導したり、ご自宅に帰っていただくよう皆様方と連携をして、その方策について考えていきたい**と思うので、協力をお願いしたい。

(2) 武蔵小杉駅周辺地域エリア防災計画の策定について

○事務局より、

①**計画の概要について**、資料2「武蔵小杉駅周辺地域エリア防災計画の策定について」に基づき、策定趣旨や策定体制、計画の位置づけなどについて説明

②**武蔵小杉駅周辺の現状等について**、資料3「武蔵小杉駅周辺の特徴」、資料4「地震被害想定」、資料5「これまでの取組」、資料6「武蔵小杉駅周辺の課題」に基づき説明（途中、武蔵小杉駅周辺における災害時の混雑状況をイメージするため、資料6の2別紙「時系列の混雑度と課題」で示した三つのフェーズについて、駅周辺の混雑シミュレーション動画を上映。）

③**計画策定の進め方について**、資料7「計画策定の進め方」に基づき、目的の再確認や踏まえるべき点、計画の検討の流れについて説明

須田委員：**今後検討すべき全体の課題の中で、一時滞在施設の指定の拡充も、取り上げていただければ。**一時滞在施設は民間の協力を頂く必要があるため、非常にハードルが高いと認識しているが、現在も川崎市全体の一時滞在施設の確保数は、3万5千人の滞留者の予想に対して、1万4千人ぐらいということで、半分弱の状況。先ほど、屋外滞留者の数に対しての滞留可能数の話があったが、この滞留者についてはコントロールが難しいところでもあり、滞留した人を一時滞在施設に全部収容できれば、非常に問題が少なくなることから、非常に難しいことは理解しているが、一時滞在施設を何とか指定を拡充していく努力を、一緒にやっていきたい。

事務局：**ご指摘いただいたとおり、一時滞在施設については、まだまだ数が足**

りない状況であるので、この点についても計画に入れていきたいと考えている。

犬飼委員： 一時滞在施設が、やはり絶対数的には足りず、市の施設だけではなく、民間施設をどうしても利用せざるを得ないと思うので、**一時滞在施設の拡充というのは非常に重要**になってくると思う。

また、**一時滞在施設の誘導**も、他のエリア防災計画でもかなり課題になっている。特に休日とか夜間は、**公的機関の人がいないと、どうしても民間事業者に頼らざるを得ないので、この一時滞在施設とか、電車の運行情報など情報伝達手段についても検討していただければ**と思う。

砂田会長： この地域の場合、都心の大規模な拠点と違い、駅利用者だけでなく、高層住宅と重なっているという特徴がある。阪神淡路のケースを見ても、一定の時間がたつと、**高層住宅にいる方も、いったんは下に降りるとい**うケースもあると思うので、**その辺のことも少し考慮には入れた方がよい**と感じる。

岩満委員： この件は、会長の話のとおり、**かなり高層マンションができており、今後もまだまだ高層マンションができてくるという状況**の中、非常に苦労しているのは、一つのマンションに管理組合があり、そこを通さないとなかなか動けない。突発事案発生の際に、そういう形でいいのかという問題も残っている。何とか早急に救出できるよう、スムーズに警察が動けるフォロー等があればと思う。

砂田会長： ただいまの説明、それから様々な意見をベースに、この後、エリア防災計画を作っていくが、**計画を作ることが目的ではなくて、それを実効性のある、安全対策に生かすということが目的**であるので、今後ともご協力をお願いしたい。

5 その他

○事務局より、次回の計画作成部会が12月22日（火）15時から中原図書館で開催する予定であること、また、これを踏まえた帰宅困難者の対策訓練については、来年の1月の下旬を予定していることを説明した。

6 閉会

《川崎市中原区区長・鈴木委員 挨拶》

本日は忙しい中お集まりいただき、長時間にわたりご審議いただき大変感謝している。**今回は計画の趣旨や、川崎市、武蔵小杉駅周辺の現状と課題など、いわゆるベースになるような情報を皆さんと共有をした**ということである。

今回は、計画作成部会の皆さまにより、災害時における各関係者の役割など、具体的な内容について審議、議論いただき、その後の帰宅困難者対策訓練の実施結果を踏まえた後、3月には今回と同様、協議会と部会の合同会議として開催し、計画を決定したいと考えている。ご多忙の中ではあると思うが、武蔵小杉駅周辺地域エリア防災計画策定に向けて、今後とも皆様のご協力をお願いして閉会の挨拶とさせていただきます。

以上